

## 授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の基本的な名称、構造を学ぶ</li> <li>・自動車に使用される材料について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、パワーポイント		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	エンジン	エンジンの種類
	2	エンジン	エンジンの各部の名称
	3	エンジン	エンジンの役割と構造
	4	エンジン	冷却装置の役割と構造
	5	エンジン	潤滑装置の役割と構造
	6	エンジン	点火装置の役割と構造
	7	エンジン	燃料装置の役割と構造
	8	シャシ	動力伝達装置の名称と構造
	9	シャシ	動力伝達装置の名称と構造
	10	シャシ	制動装置の名称と構造
	11	シャシ	制動装置の名称と構造
	12	シャシ	かじ取り装置の名称と構造
	13	シャシ	かじ取り装置の名称と構造
	14	シャシ	緩衝装置の名称と構造
	15	シャシ	緩衝装置の名称と構造
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	材料・燃料・潤滑剤	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車に使用される材料について学ぶ</li> <li>・自動車に使用される燃料について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、パワーポイント		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	基礎工学	自動車に使われる材料
	2	基礎工学	自動車に使われる材料
	3	基礎工学	自動車に使われる材料
	4	基礎工学	材料の性質
	5	基礎工学	材料の性質
	6	基礎工学	自動車の機械要素
	7	基礎工学	自動車の機械要素
	8	基礎工学	材料の性質
	9	基礎工学	材料の性質
	10	基礎工学	燃料の性質
	11	基礎工学	燃料の性質
	12	基礎工学	自動車に使用される潤滑剤
	13	基礎工学	自動車に使用される潤滑剤
	14	基礎工学	潤滑剤の性質
	15	基礎工学	潤滑剤の性質
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	原理・法則・諸元	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の原理、諸元を学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、パワーポイント		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	基礎的な原理、法則	荷重(テコの原理)、軸重、トルク、軸トルクの計算の計算
	2	基礎的な原理、法則	力のモーメント 荷重割合
	3	電気の計算	電圧の求め方
	4	電気の計算	電力 電力量の求め方
	5	自動車の諸元	燃料消費率の計算
	6	自動車の諸元	エンジン圧縮比
	7	自動車の諸元	エンジン回転速度と平均ピストンスピード
	8	自動車の諸元	変速比
	9	自動車の諸元	自動車に働く抵抗、駆動力
	10	自動車の諸元	登坂能力
	11	エンジン	ガソリンエンジンの構造
	12	エンジン	ディーゼルエンジンの構造
	13	エンジン	エンジンの作動
	14	シャシ	動力伝達装置の作動
	15	電装	回路の解き方
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	法規	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備に関わる基本的な法令について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	法令教本、パワーポイント		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	道路運送車両法	自動車種類
	2	道路運送車両法	自動車種類
	3	道路運送車両法	自動車種類
	4	道路運送車両法	自動車種類
	5	道路運送車両法	保安基準
	6	道路運送車両法	保安基準
	7	道路運送車両法	保安基準
	8	道路運送車両法	点検整備制度、検査制度
	9	道路運送車両法	点検整備制度、検査制度
	10	運送車両の保安基準	自動車の構造
	11	運送車両の保安基準	自動車の構造
	12	運送車両の保安基準	自動車の装置(原動機及びシャシ)
	13	運送車両の保安基準	自動車の装置(原動機及びシャシ)
	14	運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火)
	15	運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火)
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文字	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の表記体系を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	日本語で使用される文字	ひらがな
	2	日本語で使用される文字	ひらがな
	3	日本語で使用される文字	ひらがな
	4	日本語で使用される文字	ひらがな
	5	日本語で使用される文字	ひらがな
	6	日本語で使用される文字	ひらがな
	7	日本語で使用される文字	ひらがな
	8	日本語で使用される文字	ひらがな
	9	日本語で使用される文字	ひらがな
	10	日本語で使用される文字	ひらがな
	11	日本語で使用される文字	ひらがな
	12	日本語で使用される文字	カタカナ
	13	日本語で使用される文字	カタカナ
	14	日本語で使用される文字	カタカナ
	15	日本語で使用される文字	カタカナ
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文字	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の表記体系を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	日本語で使用される文字	漢字
	2	日本語で使用される文字	漢字
	3	日本語で使用される文字	漢字
	4	日本語で使用される文字	漢字
	5	日本語で使用される文字	漢字
	6	日本語で使用される文字	漢字
	7	日本語で使用される文字	漢字
	8	日本語で使用される文字	漢字
	9	日本語で使用される文字	漢字
	10	日本語で使用される文字	漢字
	11	日本語で使用される文字	漢字
	12	日本語で使用される文字	漢字
	13	日本語で使用される文字	漢字
	14	日本語で使用される文字	漢字
	15	日本語で使用される文字	漢字
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	語彙	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の単語の総体を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	単語	日常会話で使用する単語
	2	単語	日常会話で使用する単語
	3	単語	日常会話で使用する単語
	4	単語	日常会話で使用する単語
	5	単語	日常会話で使用する単語
	6	単語	日常会話で使用する単語
	7	単語	日常会話で使用する単語
	8	単語	日常会話で使用する単語
	9	単語	日常会話で使用する単語
	10	単語	日常会話で使用する単語
	11	単語	日常会話で使用する単語
	12	単語	学校生活、ビジネスシーンで使用する単語
	13	単語	学校生活、ビジネスシーンで使用する単語
	14	単語	学校生活、ビジネスシーンで使用する単語
	15	単語	学校生活、ビジネスシーンで使用する単語
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	語彙	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の単語の総体を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	語彙	日常で使われる単語の総体
	2	語彙	日常で使われる単語の総体
	3	語彙	日常で使われる単語の総体
	4	語彙	日常で使われる単語の総体
	5	語彙	日常で使われる単語の総体
	6	語彙	日常で使われる単語の総体
	7	語彙	日常で使われる単語の総体
	8	語彙	日常で使われる単語の総体
	9	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	10	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	11	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	12	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	13	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	14	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	15	語彙	学校生活、ビジネスシーンで使われる単語の総体
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文法	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の話を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	品詞	名刺
	2	品詞	名刺
	3	品詞	名刺
	4	品詞	動詞
	5	品詞	動詞
	6	品詞	動詞
	7	品詞	形容詞
	8	品詞	形容詞
	9	品詞	形容詞
	10	品詞	形容詞
	11	品詞	形容詞
	12	品詞	形容動詞
	13	品詞	形容動詞
	14	品詞	形容動詞
	15	品詞	副詞
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文法	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の話を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	文の成分	主語
	2	文の成分	主語
	3	文の成分	主語
	4	文の成分	主語
	5	文の成分	主語
	6	文の成分	主語
	7	文の成分	主語
	8	文の成分	主語
	9	文の成分	述語
	10	文の成分	述語
	11	文の成分	接続語
	12	文の成分	接続語
	13	文の成分	独立語
	14	文の成分	独立語
	15	文の成分	自立語
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	聴解	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の話を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	コミュニケーション	日常の挨拶
	2	コミュニケーション	日常の挨拶
	3	コミュニケーション	日常の挨拶
	4	コミュニケーション	日常の会話
	5	コミュニケーション	日常の会話
	6	コミュニケーション	日常の会話
	7	コミュニケーション	日常の会話
	8	コミュニケーション	日常の会話
	9	コミュニケーション	日常の会話
	10	コミュニケーション	日常の会話
	11	コミュニケーション	日常の会話
	12	コミュニケーション	学校生活、ビジネスシーンでの会話
	13	コミュニケーション	学校生活、ビジネスシーンでの会話
	14	コミュニケーション	学校生活、ビジネスシーンでの会話
	15	コミュニケーション	学校生活、ビジネスシーンでの会話
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	聴解	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の話を理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	聴解	質問を聞く
	2	聴解	質問を聞く
	3	聴解	質問を聞く
	4	聴解	質問を聞く
	5	聴解	質問を聞く
	6	聴解	質問を聞く
	7	聴解	質問を聞く
	8	聴解	質問を聞く
	9	聴解	話を聞く
	10	聴解	話を聞く
	11	聴解	話を聞く
	12	聴解	話を聞く
	13	聴解	文を聞く
	14	聴解	文を聞く
	15	聴解	文を聞く
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	読解	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文章を正確に理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	音読	読解文を音読
	2	音読	読解文を音読
	3	音読	読解文を音読
	4	音読	読解文を音読
	5	音読	読解文を音読
	6	音読	読解文を音読
	7	音読	読解文を音読
	8	音読	読解文を音読
	9	音読	読解文を音読
	10	音読	読解文を音読
	11	内容確認	読解文の内容理解
	12	内容確認	読解文の内容理解
	13	内容確認	読解文の内容理解
	14	内容確認	読解文の内容理解
	15	内容確認	読解文の内容理解
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	読解	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	6(前2、後4)単位	総時間	90 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文章を正確に理解する</li> <li>・JLPT試験N2、N3の合格を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	内容確認	読解文の内容理解
	2	内容確認	読解文の内容理解
	3	内容確認	読解文の内容理解
	4	内容確認	読解文の内容理解
	5	内容確認	読解文の内容理解
	6	内容確認	読解文の内容理解
	7	ディスカッション	読解文の内容から要約
	8	ディスカッション	読解文の内容から要約
	9	ディスカッション	読解文の内容から要約
	10	ディスカッション	読解文の内容から要約
	11	ディスカッション	読解文の内容から要約
	12	ディスカッション	読解文の内容から要約
	13	ディスカッション	読解文の内容から要約
	14	ディスカッション	読解文の内容から要約
	15	ディスカッション	読解文の内容から要約
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	日本語能力試験対策	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	・JLPT試験N2、N3の合格を目指す		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	2	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	3	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	4	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	5	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	日本語能力試験対策	指導担当者名	山本 巧
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	・JLPT試験N2、N3の合格を目指す		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	日本語テキスト		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	2	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	3	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	4	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	5	日本語認定試験対策	受験するNレベル試験対策
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備に使用する工具等の名称、使い方を正しく学ぶ</li> <li>・自動車の基本的な点検、整備について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、工具、実習車両		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	整備の基礎知識	整備の目的、整備の種類
	2	整備の基礎知識	安全作業の心得
	3	工具名称、使用方法	スパナ
	4	工具名称、使用方法	メガネ
	5	工具名称、使用方法	レンチ
	6	工具名称、使用方法	ドライバー、ハンマー
	7	工具名称、使用方法	タガネ、ポンチ
	8	工具名称、使用方法	ニッパ、ラジオペンチ、ペンチ、プライヤ
	9	工具名称、使用方法	ソケットレンチ
	10	工具名称、使用方法	ヘキサゴンレンチ
	11	工具名称、使用方法	トルクレンチ
	12	工具名称、使用方法	エアーインパクト
	13	工具名称、使用方法	ノギス
	14	工具名称、使用方法	スケール
	15	工具名称、使用方法	マイクロメータ
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備に使用する工具等の名称、使い方を正しく学ぶ</li> <li>・自動車の基本的な点検、整備について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、工具、実習車両		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	整備点検	点検の種類と必要性
	2	整備点検	点検の種類と必要性
	3	整備点検	点検の種類と必要性
	4	整備点検	日常点検項目
	5	整備点検	日常点検項目
	6	整備点検	日常点検方法
	7	整備点検	日常点検方法
	8	整備点検	エンジンルーム点検項目
	9	整備点検	エンジンルーム点検項目
	10	整備点検	エンジンルーム点検方法
	11	整備点検	エンジンルーム点検方法
	12	整備点検	タイヤ点検項目
	13	整備点検	タイヤ点検項目
	14	整備点検	タイヤ点検方法
	15	整備点検	タイヤの脱着
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	測定・検査機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	2(前1、後1)単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備の検査、測定に使用する機器の名称、使い方を正しく学ぶ</li> <li>・自動車の検査と測定の方法について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、工具、実習車両		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	検査	検査の種類と必要性
	2	検査方法	サイドスリップ、ブレーキ、スピード
	3	検査方法	排気ガス、ヘッドライト、下回り
	4	測定機器の名称と使用方法	スケール、ノギス
	5	測定機器の名称と使用方法	シクネスゲージ、マイクロメータ
	6	測定機器の名称と使用方法	ダイヤルゲージ、Vブロック
	7	測定機器の名称と使用方法	プラグギャップゲージ、プラスチックゲージ
	8	測定機器の名称と使用方法	スコヤ、ストレートエッジ、定盤
	9	測定機器の名称と使用方法	シリンダゲージ
	10	測定	ピストン外径測定
	11	測定	クランクシャフト曲がり測定
	12	測定	シリンダ内径測定
	13	測定	バルブクリアランス測定
	14	測定	オイルクリアランス測定
	15	測定	シリンダブロックひずみ測定
	16		
	17		
	18		
<b>履修上の留意点</b> 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	測定・検査機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験:
開講時期	通期	対象学科学年	国際基礎自動車科
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	2(前1、後1)単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備の検査、測定に使用する機器の名称、使い方を正しく学ぶ</li> <li>・自動車の検査と測定の方法について学ぶ</li> <li>・国際自動車科に入学を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出)</li> <li>・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	基礎自動車整備、工具、実習車両		
授業外学習の方法	テキスト該当範囲の予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	検査	検査の種類と必要性
	2	検査方法	サイドスリップ、ブレーキ、スピード
	3	検査方法	排気ガス、ヘッドライト、下回り
	4	測定機器の名称と使用方法	スケール、ノギス
	5	測定機器の名称と使用方法	シクネスゲージ、マイクロメータ
	6	測定機器の名称と使用方法	ダイヤルゲージ、Vブロック
	7	測定機器の名称と使用方法	プラグギャップゲージ、プラスチックゲージ
	8	測定機器の名称と使用方法	スコヤ、ストレートエッジ、定盤
	9	測定機器の名称と使用方法	シリンダゲージ
	10	測定	ピストン外径測定
	11	測定	クランクシャフト曲がり測定
	12	測定	シリンダ内径測定
	13	測定	バルブクリアランス測定
	14	測定	オイルクリアランス測定
	15	測定	シリンダブロックひずみ測定
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			